

平成 30 年度 (第1回)

飯 富 市 民 セ ン タ ー 運 営 審 議 会

日 時 平成 30 年 7 月 30 日 (月)
午後 1 時 30 分 ~
場 所 水戸市飯富市民センター
2 階研修室

次 第

1. 開 会

2. 運営審議会委員委嘱状交付

3. 会長あいさつ

4. 議 事

(1) 平成 30 年度飯富市民センター運営方針及び重点目標について

(2) 平成 30 年度飯富市民センター事業計画について

(3) 平成 30 年度飯富市民センター定期講座の募集状況について

(4) その他

4. 閉 会

(1) 平成30年度飯富市民センター運営方針及び重点目標について

平成30年度 飯富市民センター運営方針及び重点目標

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられるまちを形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努め、さらには、東日本大震災での経験を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実に努めていくものとする。

重 点 目 標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

(ア) 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプラン実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。

(イ) 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。

(ウ) 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。

(エ) 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

飯富市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等に合わせたコミュニティルームの積極的な活用方法を検討する。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である飯富市民センターにおいては、「個人の要望」する学習による生きがいがづくりを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた、現代的課題を取り扱った学習機会の提供に努める。

また、内原中央公民館や各市民センターの一般教養講座・教室・クラブ等、みと好文カレッジの事業を総称した『みと弘道館大学』が市民に親しまれ、生涯学習が市民のライフスタイルに定着し生涯にわたって学び続けることができるような学習機会の提供に努める。

(ア) 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

(イ) 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくために、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。

また、事業実践集を活用しながら、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開するよう努める。

(ウ) 家庭教育学級（ふれあい学級）等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割がある。

これまでのふれあい学級の内容に加え、未就園児や小学校低学年を中心とする家庭教育の支援を強化し、家庭が本来果たすべき役割を見つめ直し、親の役割、子どもの心の理解、躰など家庭での教育について考え、学び合う家庭教育学級等を開催する。

さらに、茨城県教育委員会が作成発行している「家庭教育ブック」等を活用し、小学校との共催により、就学時健康診断や入学説明会などの機会を捉えた家庭教育講演会を開催し、家庭教育力向上に努める。

(2) 学習の成果を活かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに活かせるよう支援し、地域内の人材の発掘・育成を行うとともに、地域の活性化や特色あるまちづくりにつながっていくよう環境づくりに努める。

(ア) 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用に努める。

(イ) 学習活動の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

(ウ) 学習の成果を地域活動に活かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に活かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につながるよう人材の育成と活用に努める。

(エ) 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で、学習の成果をどのように活かし、また、地域の中で、どれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営に努める。

(3) 学校、家庭、地域の連携の強化

学校、家庭、地域が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組めるシステムを構築し、地域社会全体の教育力の向上に努める。

市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能を十分発揮する。

(ア) 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

学校、家庭、地域が相互に連携を図りながら、様々な形で異年齢集団との交流や大人と接する事業など、子どもたちが直接体験する場を提供し、社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

(イ) 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの成長を温かく見守りながら、家庭教育を社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(2) 平成 30 年度水戸市飯富市民センター事業計画について

月	実施事業名	
	主催事業	共催事業
4	○各種定期講座（教室）受講生募集 ○定期講座（クラブ）受講生募集	
5	○各種教室・クラブ開講	
6	○ふれあい学級「親子でリトミック」 11日 ○飯富長寿大学開講式及び移動学習（花王 工場・鹿島港）21日	○飯富市民センター・だるま敷地清掃 2日 ○北部ブロック春季球技大会 3日
7	○飯富女性教養講座移動学習（県西方面・ 結城・紬の里）10日 ○飯富長寿大学「竹箒作り」25日 ○第1回市民センター運営審議会 30日 ○単発講座（子ども絵画教室）30日	○飯富地区ソフトバレーボール大会 1日 ○那珂川クリーン作戦参加 1日 ○飯富学区野球大会 8日
8		○お父さんソフトボール大会 12日 ○飯富地区防災研修会 25日
9	○中学生生涯学習体験交流 19日（1回目） ※中学生が市民センター定期講座受講 生と交流して生涯学習体験をする	○飯富市民センター・だるま敷地清掃 15日 ○集まれチャレンジャーPart1 29日
10	○中学生生涯学習体験交流 16日（2回目） ○ふれあい学級移動学習 19日 ○飯富女性教養講座 未定	○飯富地区市民運動会 7日 ○学区内歩く会 14日
11	○単発講座（健康教室）15日	○北部ブロック秋季球技大会 11日 ○飯富地区ミックスバレーボール大会 18日 ○飯富まつり 25日 ○集まれチャレンジャーPart2 25日
12	○飯富長寿大学「閉講式」14日 ○単発講座（子ども書道教室）未定	○飯富地区ゴルフ大会 未定
1	○ふれあい学級 未定	○みと郷土かるた飯富地区大会 未定
2		○飯富地区ボウリング大会 2日
3	○飯富女性教養講座「閉講式」未定 ○第2回市民センター運営審議会 未定	

(3) 平成30年度水戸市飯富市民センター定期講座募集状況について

○ 教室

(単位：人)

No.	講座名	平成29年度 登録者数	平成30年度登録者数			
			募集	継続	新規	合計
1	スポーツ吹矢教室	17	3	16	1	17
2	書道教室	11	10	11	0	11
3	健康体操教室	22	2	22	0	22

○クラブ

(単位：人)

No.	講座名	平成29年度 登録者数	平成30年度登録者数			
			募集	継続	新規	合計
1	料理クラブ	14	2	12	1	13
2	囲碁クラブ	10	6	10	0	10
3	詩吟・詩舞クラブ	9	5	9	0	9
4	歌謡クラブ	21	5	21	0	21
5	卓球クラブ	17	3	17	0	17
6	ビーズアクセサリークラブ	10	5	9	0	9
7	一木蕎麦の会	16	2	13	3	16
8	絵手紙クラブA	10	5	10	0	10
9	絵手紙クラブB	11	10	8	1	9
10	大正琴クラブ	9	5	9	1	10
11	歴史探訪クラブ	14	5	12	6	18
12	飯富ハーモニカ同好会	10	2	10	0	10
13	スポーツダンス	12	10	10	5	15

(4) その他

平成29年度 飯富市民センター使用状況報告書

平成30年3月末現在

利用場所等	利用者区分 (※注1)							28年度の 利用状況
	区分	市民 センター	社教団体	市	県	その他	合計	
ホール	件数	235	37	32	1	91	396	412
	人員	2654	1122	1244	34	1212	6,266	6,428
和室	件数	9	1	1	0	13	24	17
	人員	76	8	3	0	104	191	139
会議室	件数	61	34	43	0	33	171	172
	人員	599	327	657	0	326	1,909	1,803
調理室	件数	21	0	2	1	4	28	41
	人員	264	0	17	5	63	349	498
図書室 (図書利用)	件数	0	0	0	0	12	12	20
	人員	0	0	0	0	12	12	20
合計	件数	326	72	78	2	141	619	662
	人員	3,593	1,457	1,921	39	1,717	8,727	8,888
センター外 主催事業 (※注2)	件数	1					1	4
	人員	40					40	116
センター外 共催事業 (※注3)	件数	26					26	23
	人員	2442					2,442	2,006
合計	件数	27					27	27
	人員	2,482					2,482	2,122
総計	件数	353	72	78	2	141	646	689
	人員	6,075	1,457	1,921	39	1,717	11,209	11,010

(注1) 利用者区分の内訳	<ul style="list-style-type: none"> ・市民センター ～ 高齢者団体、定期講座、運営審議会 等 ・社教団体 ～ 子ども会関係団体、夜間開放関連団体 等 ・市 ～ 水戸市関係部署 ・県 ～ 茨城県関係部署 ・その他 ～ 防犯協会、消防団、社協、民生委員 等
(注2) センター外主催事業	・移動学習、歴史探訪、女性教養講座、高齢者大学 等
(注3) センター外共催事業	・ふれあい学級、中学校交流事業、各種スポーツ大会 等